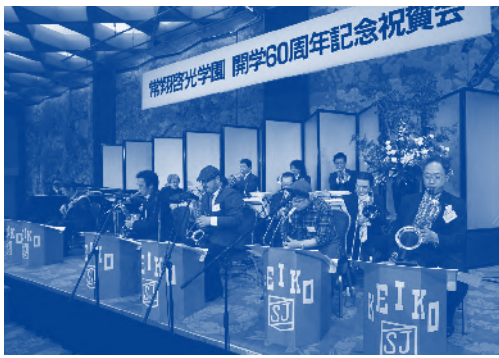


御礼

常翔啓光学園 開学60周年記念祝賀会



昨年、2017年10月29日 リーガロイヤルホテル大阪にて開催されました記念祝賀会につきまして皆様へ御礼を申し上げます。式典当日は、大勢のOB・OGの方々にお集まりいただきまして大変盛り上がりしました。70周年、そして100周年へと常翔啓光学園は更なる飛躍をしております。皆様におかれましては、これからもご指導・ご鞭撻の程どうかよろしく御礼申し上げます。



平成30年6月大阪北部地震・7月豪雨により被災された皆様へ心より御見舞い申し上げます。私達の母校常翔啓光学園も少なからず被害を受けおられます皆様にはサポーター募金などお助け頂きますようお願い申し上げます。

昨年10月に60周年記念式典・祝賀会が無事盛大に行われました。写真のように多くの卒業生と旧教職員として校長先生を初め現教職員の方に御越し頂きました。これを機会に同窓会を学校学園を盛り上げようと京都支部 大阪支部が有志により立ち上げられました。

今年度より「第一回目の同窓会を啓聖会で開催してはどうだろうか」との校長先生からの助言を頂戴し初めての試みではありますが第一回56期生同窓会を開催致しました。当日は啓聖会も開催され300人近い方に御越しいただきました。私達の姉妹校である摂南大学チャレンジ部様の演技や音楽部OB会様有志による演奏もあり非常に盛り上がりしました。

皆様への少し寂しい御報告として同日の総会にて以前からの課題であった同窓会の名称変更があり同窓会から校友会に名称変更致しました。正式には常翔啓光学園高等学校校友会啓聖会となります。皆様におかれまして今後とも校友会に御理解と御協力の程宜しく御願致します。

啓聖会会員の皆さま、お元気にお過ごしでしょうか。昨年10月の常翔啓光学園中学校・高等学校開校60周年記念フェスティバルには大雨にもかかわらず、多くの会員の皆さまに参加いただき、また、いろいろな催しに協力いただき誠にありがとうございました。お陰さまで、多くの方々に「啓光の伝統と将来性を表現する」ことができ、大成功であったと自負しております。これも啓聖会会員の皆さま、常翔啓光学園中学校・高等学校の後援会会員の皆さま、さらにはOB教職員の皆さまのお力添えによるものから感謝いたします。

さて、これからAI人工知能の発達によりIT化が進みグローバル化も加速度的に進み、社会は大きく変わります。それらに対応するために、本校では、生徒一人ひとりがどのように個性を生かして生きていけるかを考えるキャリア教育と、世界情勢を理解しているような考えの人たちと共に生きていく力を養うグローバル教育を根幹として、教

2018年度 常翔啓光学園啓聖会によせて

啓聖会会員の皆さま、お元気にお過ごしでしょうか。昨年10月の常翔啓光学園中学校・高等学校開校60周年記念フェスティバルには大雨にもかかわらず、多くの会員の皆さまに参加いただき、また、いろいろな催しに協力いただき誠にありがとうございました。お陰さまで、多くの方々に「啓光の伝統と将来性を表現する」ことができ、大成功であったと自負しております。これも啓聖会会員の皆さま、常翔啓光学園中学校・高等学校の後援会会員の皆さま、さらにはOB教職員の皆さまのお力添えによるものから感謝いたします。

さて、これからAI人工知能の発達によりIT化が進みグローバル化も加速度的に進み、社会は大きく変わります。それらに対応するために、本校では、生徒一人ひとりがどのように個性を生かして生きていけるかを考えるキャリア教育と、世界情勢を理解しているような考えの人たちと共に生きていく力を養うグローバル教育を根幹として、教

常翔啓光学園中学校・高等学校 校長 吉村 仁志

常翔啓光学園高等学校 校友会 啓聖会 会長 内濱 啓次

JOSHO KEIKO GAKUEN



常翔啓光

Alma Mater

2018年8月1日 第34号

発行人: 常翔啓光学園高等学校 校友会 啓聖会

〒573-1197 大阪府枚方市禁野本町1丁目13-21
TEL 072-848-0521
FAX 072-848-2969

HP http://www.am-kg.jp

LINE@ 同窓会 LINE公式アカウント @cui2214xで検索!

follow me! @keiko-dousoukai

母校のいま	
中学卒業生数	4,130名
高校卒業生数	13,801名
在校生数	中学 150名 高校 1,332名
教職員数	127名

※2018.5.1現在

常翔啓光学園中学校・高等学校

各方面の注目を集める常翔啓光学園!



開校60周年の昨年度は、中学校のコースを再編し「未来探求コース」をスタートしました。また、同時に、従来の「特進選抜コース」の内容もより一層充実させました。昨年は、クライミングウォールとミュージアムギャラリーの新設など、話題に事欠かない1年でしたが、今年度も、近隣の私立中学校を集めての「北河内私立中学校合同説明会〔KK6〕」の企画・運営、本校オリジナル説明会「サロン・ド・啓光」、高校入試における依然とした高い人気、今春卒業生の進学実績など、常翔啓光学園中学校・高等学校の勢いは、各方面から注目されています。

「グローバル教育」、「キャリアデザイン教育」、アクティブラーニングを中心とした「課題解決型授業」を取り入れ、自ら考える力を伸ばし、人間力の向上を図ることで、調和とバランスの取れた将来のリーダーを育成する教育方針も評価を得ています。

また、今年度の中学校入学試験（B日程）「英語」において、リスニングテストを実施いたします。

さらに、2020年度高校入試でもリスニングテストを導入できるように検討中です。

お知り合いなどで、常翔啓光学園中学校・高等学校にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、入試部：秋山までお知らせください。

072-807-6632 (入試部直通)

平成30年 常翔学園校友会 総会・全国支部交歓会

平成30年 常翔学園校友会 総会・全国支部交歓会がこの度7月7日札幌にて開催されました。今回もたくさんの方々にお集まりいただき、盛り上がりしました。これからも引き続きどうかよろしく御願いたします。



編集後記

今年も母校の会報誌製作に携わる事ができましたこと大変光栄に感じております。昨年、開学60周年という節目の年にはじめて関わることができ、懐かしの恩師の先生の名前や新しくなった校舎の写真などを感慨深く拝見していました。母校の伸びゆく姿を遠く離れた東京から感じることができ、誇りに思います。これからも益々の発展を祈念しております。OB・OGの方々これからもどうかよろしく御願申し上げます。

55期生の皆様へ 2019年1月14日(月・祝) 大人の集いについて

詳細は未定ですが、校友会、後援会、在校生で協力し、新成人になる常翔啓光学園の卒業生の門出をお祝いしたいと思います。校友会ホームページ上に詳細は連絡いたしますので、必ずご覧ください。



●成人式をお手伝いいただける卒業生の方はFAXにて校友会までご連絡ください。【FAX】072-848-2969

音楽部OB会

約11年前に啓光学園創立50周年記念祝賀会(2007年11月4日開催)を催すために、実行委員会が立ち上がりました。岩田先生がリーダーとなって何回も企画会議を行いました。卒業アルバムを校長室からお借りして、各年度の写真をスキャンしてスクリーンに映像を映し出す企画もありました。私は音楽部出身であったので、かつてのバンドを復元したく、音楽部O.B.の皆さんに声をかけたところ、多くの人が駆けつけてくださいました。その中でサクソフオンを吹いて生計を立てている坪山健一さんが纏め役となり、式典内の演奏ではプロトランペッターの寺内茂さん・国本昌靖さんも加わり、すばらしいサウンドを提供することができました。司会は同O.B.で弦ベースを弾いていた落語家の桂福楽さんに努めていただきました。

そして大事件が起こりました。50周年記念式典が終了したすぐ後に身売り話を聞くことになったのです。啓光学園はスペインのクラレチアン宣教会が運営するカトリックの学校でしたが、経営に行き詰まり手放さざるを得なくなったとのことでした。大阪のカトリック男子校全3校のうちの1校が消滅することになったのです。トーマス大学(旧英知大学)は同じ宗教団体が経営する大学で、助けていただければ良かったのですが、付属高校どころかトーマス大学自体も苦しい状態の後で閉鎖されることになるのです。このときの受け皿になっていただいたのが常翔学園グループでした。宗教の枠から外れましたが、みごとに2008年から常翔啓光学園として復活しました。

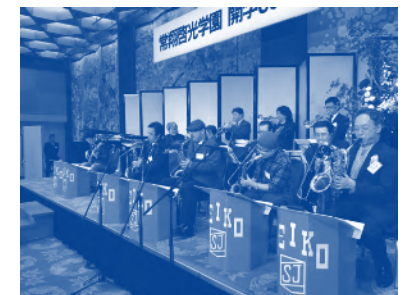
2009年には女子生徒が入学したこともあり、校歌の「啓光学園男児」の歌詞もそぐわなくなりました。常に演奏していたことから音楽部面々は譜面も暗記していた校歌でしたが、新しい校歌が誕生することになりました。

2011年3月13日校舎取り壊しお別れ会が開催された時には50周年の実績から再度、O.B.演奏の機会を得ることができました。その後、2015年1月から新成人お祝いの時に演奏させていただいております。昨年の60周年記念フェスティバルは大雨の中開催されましたが、音楽部O.B.が集まって、演奏することができました。

一方、現役音楽部は第41期・2002年の卒業生を最後に廃部状態が続いていましたが、2015年から新しい吹奏楽部として復活しています。かつての音楽部では個人で楽器を購入し、各家庭に大きな負担をかけていましたが、吹奏楽部発足に当たっては常翔グループにて楽器を揃えていただいたとお聞きしています。途中10数年の空白がありますが、1963年の1期生卒業以来55年にわたる音楽部のO.B.が一同に会することができればと思う今日この頃です。



成人式



60周年

Event schedule

啓聖会 行事予定

2018年度

2018年度の啓聖会の行事予定です。

- 11月17日(土) 納会 場所 船市(ふないち) ※詳細は未定です。詳しくは後日ホームページにて案内いたします。
- 1月14日(月・祝) 大人の集い ●成人の集い 55期生の皆様には12月に案内状を郵送します。

ホームページを随時内容更新中! 啓聖会 | 検索

※母校の情報など、内容盛りだくさんで更新中!ぜひ一度クリックしてみてください。その他にもイベントあります。変更等もありますので、必ずホームページにて御確認下さいませ。

青年部だより

啓聖会青年部の田中睦貴と申します。常翔啓光学園中学校に2011年に入学し、青春の6年間を常翔啓光学園で過ごしました。そののち、2018年に奈良県立医科大学医学部看護学科に入学し、現在に至ります。

私が現在、医療従事者の卵として日々研鑽に励む中で、「人と協力すること」「探究心を忘れないこと」が大切であると感じています。この二点の礎を築いてくれたのは、母校・常翔啓光学園であると思っています。私は、中学・高校と6年間にわたり、同じ仲間と過ごし、また、ワンダーフォーゲル部に所属しております。私は、学校生活・クラブ活動を通して、周りの人の大切さと、ひとつのことに専念し、これを続ける、突き詰めることの大切さを学びました。

私の中高の担任の先生は、卒業式ののち、「人に愛される人になって欲しい」という思いを持って指導してきた。とおっしゃっていました。先生の人との繋がりを大切にしている態度を、私たちは学ばせてもらいました。今でも、級友とは連絡を取り、思い出話を花を咲かせます。こうしたことが出来るのも、学校での先生の「人との繋がりの大切さ」を教えてくださいましたからこそかと思えます。

また、部活動においても、人との繋がりの大切さを学びました。先に述べました、探究心を忘れないこと。ですが、探究する。ひとつのことを突き詰めるというのは、ひとりではできないことであると思っています。高校生の時分に、私たちが、インターハイ出場を目指す上でも、山のことを突き詰めました。しかし、これは私一人でしたことではなく、同期の支えや、後輩の支持、顧問の方々の指導とフォローがあったからこそであると思っています。

やはり、ここでも、人との繋がりを、人と協力することを育まれたかと思えます。

お笑い芸人、銀シャリのネタに、このようなものがあります。

以前略…

「それだけちゃうぞ。道路挟んで向かいや、向かいが一貫教育の学校や。」

「子どもたち多いからそれはうるさいかもしれんわ。」

「小中大のやつや。」

「何で高校ないねん。一番アイデンティティを植え付けれるジェネレーションでしょ、あれ。」

3年間ずっぽり抜けてんのすごいな。」

以後略…

そうです。高校はアイデンティティを一番育てられる時期なのです。そういう意味で見た時に、私は、自らのこの時期を常翔啓光学園で過ごし、友達、先輩後輩、先生といった、恵まれた人間関係で過ごすことができ、幸せだな。とつくづく感じます。常翔啓光学園で得たことは一生モノであると思いますし、人間関係も生涯大切にしていきたいなと思います。

常翔啓光学園校友会 啓聖会大阪・堺支部 発足

卒業生の皆様初めまして32期生の田中孝慶です。この度、啓聖会大阪支部で副支部長を勤める事となりました。私は、ラグビー部OBで学生時代には卒業生の皆様に様々なご支援を頂きクラブ活動を存分にすることが出来ました。クラブ活動を通して夢や希望そして挫折、人間関係など人生において無くてはならないかけがえの無いものを学ばせてもらいました。

人生を振り返り少しでもお世話になった皆様や学校に感謝をしたい一心でございます。大阪支部では異業種交流会など常翔グループとの交流を計りたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

常翔啓光学園校友会 啓聖会 京都支部 発足

本年4月に「常翔啓光学園校友会 啓聖会 京都支部 発足会」を開催させて頂き、京都で活躍している同窓生の皆様が親交を深める場が、21期生の村井伸勇氏を支部長として歩み始めることができました。

常翔啓光学園同窓生の皆様はもとより、現在学園で学ばれている生徒並びに保護者の皆様、ご指導頂いております教職員の皆様、過去に教鞭をとって頂きました先生方、学園関係者の皆様で、京都支部発足のお知らせが届いていない方々にお詫び申し上げますとともに、厚かましくも今後の活動へのご協力と、積極的なご参加をお願い申し上げ、京都支部発足にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。(お問合せ keiseikaikyoto@gmail.com)

京都支部副支部長 上倉淑敬

決算報告

2017年度 決算

自2017年4月1日 至2018年3月31日

【収入の部】		(円)		
収入科目	予算	決算	増減	備考
前年度繰越金	2,482,815	2,482,815	0	
会費	0	702,000	702,000	60周年記念事業等会費
学園教育振興会援助金	4,720,000	4,720,000		56期生会費(472名)
雑収入	100,000	180,000	80,000	ご祝儀等
受取利息	0	99	99	預金利息
過年度繰越金取得額		2,442,762		
総計	7,302,815	10,527,666	3,224,851	

【支出の部】		(円)		
支出科目	予算	決算	増減	備考
印刷費	600,000	974,693	374,693	会報印刷・成人式案内
通信費	400,000	503,344	103,344	会報発送・ホームページ費用
活動費	1,000,000	1,430,595	430,595	成人式等
事務費	100,000	16,632	-83,368	
総会費	200,000	0	-200,000	
在校生支援金	3,000,000	2,678,774	-321,226	クラブ寄付等
60周年記念事業関連費	1,500,000	4,923,628	3,423,628	60周年記念事業費
予備費	502,815			
次年度繰越金	0	0	0	
総計	7,302,815	10,527,666	3,224,851	

※60周年記念事業関連費には下記を含む
 ・後援会との共同60周年事業
 在校生支援金
 1,080,000円
 ・学校へのリポーター募金
 2,000,000円

2018年度 予算案

自2018年4月1日 至2019年3月31日

【収入の部】		(円)	
収入科目	予算		
前年度繰越金	7,617,785		
学園教育振興会援助金	4,620,000		
雑収入	100,000		
受取利息	99		
総計	12,337,884		

【支出の部】		(円)	
支出科目	予算		
印刷費	600,000		
通信費	400,000		
活動費	1,000,000		
在校生支援金	1,000,000		
56期生同窓会支援金	1,400,000		
予備費	7,937,884		
総計	12,337,884		

啓光学園テニス部同窓会

テニス部同窓会代表 羽田野邦彦

2015年に当時の顧問：桑田先生並びに僕たちテニス部員は、20数年の時を経て再会するを実現し、今年4年目を迎えるにいたっております。年々そのメンバーも数を増し、現在20人を超える所帯となっております。全員がまる会食の場合は今昔の話題で尽きません。そして僕は、改めて絆という言葉の重みを知る事になります。それは、6月18日に発生した大阪北部地震。地震発生から5分も経たない時に、東京都内在住のメンバーが安否を確認する為にグループメッセージを送信して

ました。すぐさま、メッセージを受取ったメンバー達が状況を報告します。この一連の出来事のスピーディー且つ互いに相手を思いやる気持ちの表れが携帯での短文でひしひしと感じられました。

同じ学び舎で過ごし、共に汗を流してきた同胞との青春時代。あの時流れた時間は、真実を知る事になります。それは、6月18日に発生した大阪北部地震。地震発生から5分も経たない時に、東京都内在住のメンバーが安否を確認する為にグループメッセージを送信して

2018年7月吉日

ラグビー部

OB会からのご報告

立秋とは名ばかりの暑い日が続いておりますが、皆様、お元気でいらっしゃいますでしょうか。常翔啓光学園ラグビー部OB会では、年間を通して、ラグビー部OBとの交流を行い、現役プレーヤーのサポート支援、また、父兄、学校とも親睦を深め、更なる飛躍を目指し、活動を活性化しております。

さて、昨年10月にはなりますが、本校開校60周年記念事業の際、啓光学園ラグビー部OBで、現在社会人リーグでも活躍されている、猪村優仁君、金正奎君、山下楽平君の三選手にお越しいただき、川村監督や現役ラグビー部員を交えて、それぞれ高校時代の懐かしい思い出やラグビーを通して人生で得た事などをお話して頂きました。司会は吉本興業所属で啓光学園ラグビー部OBでもある、ぼんちきよしさんが場を温めて頂きました。

また今年4月、今回で14回目を迎えることになりました、懐かしのラグビー大会にも出場し、年代を超えたOBメンバーで汗をかき、一つのボールを追いかけての交流も行うことが出来ました。今回、花園ラグビー場が2019年ワールドカップに備え改装中でありましたが、鶴見緑地グラウンドにて他高のラグビー部OBとも絆を深めることもできました。

そして今年も7月に、啓光学園ラグビーカーニバルを開催致しました。各ラグビースクールによる交流試合や現役のゲーム、また今回のOB試合は

合格大学一覧表

合格校	現役合格者数	合格校	現役合格者数
埼玉	1	関西	37
金沢	1	関西学院	10
福井	1	同志社	16
三重(医-医)	1	立命館	28
滋賀	2	京都産業	42
大阪	1	近畿	112
兵庫教育	1	甲南	11
奈良女子	1	龍谷	91
愛媛	2	8私大計	347
徳島	1	大阪工業	100
鳥取	1	摂南	418
島根	1	広島国際	12
長崎	1	学園内大計	530
敦賀市立看護	1	同志社女子	13
滋賀県立	2	京都女子	7
大阪市立	2	武庫川女子	4
兵庫県立	2	大阪薬科	2
奈良県立	1	関西外国語	19
奈良県立医科(医-看護)	1	京都外国語	14
岡山県立	1	早稲田	2
公立鳥取環境	1	明治	1
合計	26	中央	2
防衛大学校(1次合格)	12	立教	1
		法政	2
		その他私立大学	316

※卒業生数471名

陸上競技部

「津野先生退職お祝いの会開催」について

2018年1月7日(日)にアゴーラ守口にて、OBOG総会を兼ねた津野先生退職お祝いの会を盛大に行いました。

寒い中ではありましたが、OBOG総勢50名を超える参加者がありました。大変、和やかな雰囲気のお祝いの会となりました。

多くのOBOGは、お世話になった津野先生やかつての仲間達との団らん時間を忘れて、とても良い時間を過ごす事が出来ました。また、今年からは、陸上競技部は、新たな歴史を作るべく、スタートを切っていますが、OBOG会としては、現役支援を最大限の目標として、引き続き支えて行きたいと考えています。

今年度の総会開催は、改めて、ご連絡申し上げますが、引き続き、多くのOBOGには、ご出席賜ります様に願ひ申し上げます。総会開催のご案内は、改めてご連絡させて頂きます。

OBOG会に対して、今以上のご支援、ご理解を、どうか、宜しくお願い申し上げます。

陸上競技部OBOG会長 濱田 和男

他のクラブチームを招待させて頂き熱いゲームを行うことが出来ました。OB会、現役学生、父兄会、学校と四方良しの更なる深い絆を深めることができた一日でございました。

最後になりますが、8月下旬より始まる全国大会予選に向けて、啓光学園ラグビー部OB会は一丸となって応援、サポートをして参ります。多くのラグビー部OBの皆様も試合会場に是非、足を運んでください。長文となりましたが、まだまだ残暑は続きますが、皆様におかれましても、お身体にはどうぞご自愛くださいませ。

常翔啓光学園ラグビー部OB会



2018年度 進路結果報告

進路指導部長 北田広明

4月より、進路指導部を担当させていただいております。ましくお願ひいたします。2018年3月の卒業生は、471名(昨年度は363名)と、昨年比べて100名以上増えています。今年度は、高校の進学で生徒数が400名を超え、中学校と高校を併せて総生徒数1482名となり、ご数年、毎年500名規模の学校として推移しております。卒業生471名のうち、438名(93.0%)が大学進学を希望し、その内400名(91.3%)が大学進学を決めました。大学合格者の詳細については、国立公立大学合格者26名で、昨年度に比べて9名増えています。また、関関同立大91名、産近甲龍大は256名という結果となりました(過半数を含む合格者の数)。学園内大学へは102名が進学し、内訳は阪工業大大学に2名、摂南大学に59名、広島国際大学に2名が進学しました。大入試全体を俯瞰しますと、ご数年、私立大学入定員の厳格化(入定員を守らざる文科省からの指導の影響で、関西8私大を中心に志願者数は前年度に比べて増加していますが、合格者数は減少傾向にあります。その影響は、関西8私大に比べて、まます、他の私立大学にも玉突きのように影響がありました。つまり、私立大学の入試全体が難化する傾向にあります。本校の生徒もその影響を少なからず受けました。そのような状況下でも、生徒たちはそれぞれの目標に向かって、最後まで粘り強く

努力し続ける姿勢を貫いてくれました。年内の公募制推薦入試で勝ち取った倍率が満足するほど高く、年明けの一般入試すらにしの大学を目指した生徒も数多くいました。また、今春に第一志望の合格を実現できずに、来年に向けて再チャレンジを切った生徒もいました。本校の進路指導の大きな特徴は、生徒と担任の先生との面談の機会が多いことです。休み時間や昼休み、放課後になれば、職員室は生徒であふれ返ります。つまり、担任の先生は生徒一人ひとりのベストの進路希望を叶えるべく、常に面談を通して生徒の志向を把握して行きます。成績や偏差値だけで画一的に行う進路指導は行っておりません。これは本校の良き伝統でもあります。現在、高校1年生が大学入試を迎える2020年には、大学入試制度が大きく変わります。現在の、大学入試センター試験は、「大学入試共通テスト」に変化を遂げ、国語と数学に新入試形式が導入されます。また英語はペーパーが取り入れられ、「読む・聞く・書く・話す」の4技能が試されます。ますます多様化する大学入試に向け、今後もますます同様に、きめ細かな進路指導を心掛けていきたいと思います。

同窓生の皆さまにおかれましても母校の更なる躍進に期待していただくとともに、ますますのご支援を賜りますようお願いいたします。